

バストス週報

第三百七十九号
昭和三十三年
七月十七日
発行

DIRETOR
KOITI MORI

REDATOR
SHION ODA

RUA PRES.
VARGAS 188
C. P. 112

BASTOS

C. P.

ANUAL
100\$-

バストス移住地第二十九回 入植祭現地報告

馳け出し記者の手記です。毎年バストスの入植祭は寒くて夜、野天芝居の立見でもして、腰の辺から脚にかけてシンシンと冷える。今年七月十三日、十四日とも快晴（十日は夜はやや曇夜というた風情であつた）気温二〇度、絶好の祭日和だつた。九時半長と人の熱で、テーフが坊られバストス産業会館の産品、手芸品展が公開された。夕方までに相当の入場者があつた。ある人の六、七に相当の両日三、四百八十何人が入場したが、同じ人が二回行つたり役員の出入りもある。バストスとして大した人出である。毎年同じ様な出品物などという考えで見ている人もある。産業奨励の主旨が根幹をなすのであつて、などと改め、閑さ直らなくとも、こういう催しは全然無いか又は催しをやらぬ地方と、毎年の行事として続けているバストスの現状とを比較、又は対照考察をすれば、功績の余りにも大いかに気がつくであらう。鶏卵の値のよき、果物野菜のさきエ合、日に見えて歩のよくなつた、荷等ひろい上りると、バストス農家の篤農精神、登頭（とうとう）の威力は色々な作品となつてにみみ出ている。おろりと並んだ出品物を、見て、いるうち自然と畏れという強い霊光に打たれる思いがするものである。人間には發表欲がある。展示という形で發表する。これによつて明日への道展（みちのび）があり、希望が生れる。改良も進歩もみなここから発足する。

手芸展にも立派な作品があつた。一々感想をのべる暇はないが、大体編物、刺繍にすぐれたものが多い。人形には稚拙美があつた。汐汲嬢（しよきぢやう）のようなアカデミツクなものもあつた。編物や刺繍と、手芸品に芸術的なにおいを感じたい。この方を指導者の方々にお願いしたい。この方面にも前衛的（ぜんゑてき）な萌芽（もが）がなければならぬ。陳腐（ちんぷ）な、悪趣味（あくしゆみ）な、横柄（よこがた）の動かない、と、寫真展は南伯中央倉庫（なんはくちゆうさうくら）で場所はここが一番、今年で十回とは、中々かんばるね。

ALFAIATARIA IMPERIAL



自然な
姿勢
マルヤマの背広

バストス
丸山洋服店

Casa Taroda Maquina de Costura "Singer"



もう一台買おうと
かんはつていますの
毎月僅かなフレスタソンで
すぐ買える人です
あなたもいかが？
4回 11回 16回 25回 払
詳細はご来店願います
アネマル街
太郎田商店

と、その道の人が話して、いたが、これも趣味だから、一回の展覧会に日頃の蘊蓄（うんじやく）を傾けて出品する。それでも八十余の出品があつた。この会に出品を一般から募集（しよく）して、見ても、出す人もあるまいが、太刀打（たちうち）は、未だ腕（うで）は、すぐれて、いるようだ。寫真は、道具（どうぐ）による、藝術（げいゆ）（技術）と、さかして、いるが、作品は、別項（べつぎやう）に、ゆづり、と、まれ、バストスの、移住祭（いじゆうさい）の、一角（いっかく）を、占める、貴鏡（ききやう）の、年々、太り（ふと）つ、て、ある、は、見（み）の、が、せ、ない。

次は生花展

会場コチア倉庫二階迄々としたサロ
ンで明るく気もちがよい。生花展は始めて
何年になるかさきさきもいらした。今度で五回
目ではなからうが、年々出品数も多くな
り、質的に昨年と比しても余程すくなく
ものが多いなっている。百点以上の作品
を一々鑑賞していろいろと相当時間がかか
る。其の中で目にとまらぬ数点について言
評を加えて見るが、見せられた佳作も多
いことと、思う。本日ももえさ人の「懸」は
何と云うのが一本の竹筒を右に左にはマ
ンがの葉で作ったといわれる紅葉をあし
りい底辺に一面山豆をしまつた新しい
意匠を充分にもしり上げた作品があった。
これはお師匠様から習ったものでもない作
者の創作だと思われ、意あつて枝到
うすの感を受けたが、新興生花へ歩み出
しを創作或は制作の熱意は充分うかがわ
れる。従来の生花が悪いとかいけな
いとか云うのではない。時代々々或は季節によ
る懸飾乃至懸賞が作品に出てくるとそれ
が個性の表現ともなり、常に生氣を伴う
のである。皆の中からそういふものが生れ
つのであることは生花をクラシックな殿堂から
庶民の室へ開放することであり、藝術の
伸縮入りをする道筋だと思ふ。
栢野益子さんの力作、花器に天然樹根
を選ばその力がクローラクな妖嬈美をも
て見る人の心を捉える。キコクの実とコ
ツホレイテを、あしらつて不思議な調和
を出しているのは成功だが、もう一つ小石
砂利をしきつめぬのは、前の本田さんの
小豆より効果があつて、前のように思ふ。
手堅い作風にも新味を出している。
はる橋と子さんのつるべ、秋をい
う、つる草があらはれ、本田たね子さ
んも中々堅実な作風で石製の花瓶は鑑賞
に値する。その他戸内礼子さん、篠崎と
し江さん、と若い連中が張切り、中老(コ
レハ比較、年々、ハヤサというイミは無い)に似
て堂々の陣をしいて居るのは心強い。
宮武先生は「郷愁」というのを出品し
て大いに新しいと二つを見せた。材料は
青竹、ラン、ハス実、キコク(リキ)等、青竹を二
段の手榴凡に作り、之に前述の花器をあし
らつたもの、窓ガラスを背景にしてある
ので前方から頗る見にくい。こういう場
所は誰かがさういふ自分な作風を
と言われる。つらい哉である。作品その
ものは習作程度、判つたようだが、相
当な顔で見てゐる人が多し。日本でも相
今の形がよくなるものか、論議されてゐるが、
飛躍するものか、前衛生花の情熱と、情
いふこと、かぬ複雑な表情を呈したま、
批判研究のマトになつていふよきだ。

Sapataria Bastos

通学用 家庭用
いろいろ



クツのごようは
早川靴店

慰霊祭と敬老会
慰霊祭はゴヤンベ一の瀬部南教師の誘
いで十四日十一時から一徳会館で盛大に
催された。引つゞき午後一時半から同所
で敬老会、八十数名の招待男女老人、こ
れにクツの洗ひがつかから会場ははち切れ
人ばかりである。余興に琵琶洋瑠璃手品
等あり、慰霊の表は一日であった。
○圧巻鯉祭
ここは大野鯉翁氏の大フアセンタ。両丘
をはさんだ岩間をスナクラ池と、背後
に三年ものユイカリ園、昼尚くらく、
という絶好の会場であり、ユイカリの下
枝は、きれいに刈られ除草のあと新しい林
間に急造の大宴会場ができていた。十四
日午後二時アサマシチーナ、パンタの演奏
と鯉祭の幕がはつておとされた。
西村英一司会者、スエマイクの前で、大
野精一、三つ御支障の全婚式と、長身祝
を、只今からと中々の名調子でつとめる。
夫婦揃つて結婚五十年を祝ふことは、さう
さうにはないことだし、大野さんのよう
四人の息子さんがお水、右を左に孫が
外孫を合せて四十何人、経済、健康、家
族、あらゆる点から万点をつけられ、四
人からの招待者にとりまかれて祝詞をあ
かせられることは、おそろしく此の世の天國
であろう。幸福の人大野御夫妻、もう
二十五年ながりえて、タイヤモンド婚式と
いうのをやつて、神さまをひつくりさせて
もらい度いと心から皆が祝詞をのべた。
今年から鯉祭というのを入植祭の行事に
加へていかに、費用は連日会と大野家
もつこと、他に奇貨の土あれば幸甚。
今年に入植祭がない相だといつたら、怒り
入植祭株がドツと下つたといふから、恐ろ
しい。後者御連中、ソレ見タカと大急ぎで
売り方に廻り、一生懸命働いたで、ジリジ
リもちなし、まるで相場見たようない
方が、とにか、一座を急造夜を日につい
で猛練習をはけん、だ甲斐あり、全盃の
行方を看板に蓋をあけ、余興部の貫録
を示した。唄と音楽はヒバリ楽団のセン

モン、新ブリツケには藤原望に八重子女史あつて人材に
 ことを欠かず、フツワの踊りならハ光団の先生がらすむも師範
 代にことを欠かず、今年はヒロ、又ハ、手品、追合走と、そく
 多く申込のあつた外、名物ハイケイ踊正権に云うとバストス
 婦人会総出渡のユカシオドリ(多分盆踊の一種)が新指導に
 海野又人を待て、すっかり板につま、ヤンヤと大向うをうなら
 すなど、意勇二十人のお各さんすっかりソノノして夜明け
 の二時三時まで、マスにかじりついで動かぬ始末、毎年のこと
 ながら入植祭はエンブ場々今更にいってラナイマックスた
 ること、この新米記者が太鼓おあすものである、出渡踏足
 好に満腹の感謝をささげるものである

さてその司令であるが、バストス司令三人、一に、イッモノ
 の本田の正さん、二に、ニホンジンカイの重道さん、三に、サン
 キョの春一さん、と頼がそのえは、まんず全伯になりがものな
 き放送陣であらう、その一本田君、カンきまりて主観捕
 寫せり、ついで吾男、吾女の紅涙をほろりしむること一再なら
 ば、希列の湯井さん、なまりかねてオーイ、時間がないぞう!
 つりつら、おもみみるに冬の夜も、もう三時四時のはずエ、
 せんことには、カユイ所までカイト上休られんぞうである、演
 劇演芸の関係者は、エライ仕事であらう、床の下で、むくわれ
 かにひとはんかへは、ついでいさせれは、これまどうま
 うも事々人を得て、つらい思いをさせればこそ、これまどうま
 くや、てい、感謝にたえない……

更に、パール、ふろさことを、のぞいて見よう!
 まア河津のマンチマン相手のヤキドリ度と想像してこれ給え
 あの俄か作りのメーカとカネイラ、周囲のカベと天井のマクは
 各支那青年のもちよりで、且つ青年の出演による、更にです
 日本式マキドリの串は、全支部青年のキフモチヨリです、も
 う一つ更だ、かの両日、名席の註文をあげて給仕する娘さんは
 いがれも良家の子女、青年団員なるが故の素直だ、ということを
 知っていたかかなくてはいけない、たが、ついで時々は、酒席の女
 との見せかきを忘れるようである、経営者の、青年団や陸上部
 としては、わづか二日の営業で十コント以上の利益が上るの
 だから、このパールには、さかぬ機かがある

酔者は大いにのんで唄いたまえ、自もたのしみ、陸や野
 郎の経済的なアジユムになりなうは、こんなけつこうな値
 しはあるまい、たかお若も、経営者も、充分津腹を目的の
 たののサンハイでもあることを目覚めての人でもういない、ど
 うりで私は二日さいの気配である……
 次に団幕の会あり、学生修演あり、俳句会あり、唄々に
 記述して行くと、だれるから稿を改めることとする

御 礼

金 巻 コント也

故御主人 春一様并五周忌並 故男房一様十三回忌の
 御法要の節追善供養の爲め当会へ御寄附下さいました
 有難く御礼申上ります

留市

バストス 佛 教 会

前原 辰 次 様

御 礼
 金五百針也
 伊ナクワへ御移転記念
 イナレシヤ 建築委員会々計
 大 郎 田 侍
 エカスカツタ区
 流 江 秀 一 様



Casa Taroda
 大 郎 田 商 店
 大至急御用命下さい
 年末拂の交渉に応じます

東本願寺開教本部長
 新任御挨拶と講演會
 今日 稻葉前部長後任として着任せられました
 武宮 礼 一 先生

新任御挨拶と講演のため巡回せらるることにな
 りましたから、多敷 御末聴希ひます。
 特に先年法主御采伯の砌り帰敬式
 を受けられた方々は浅れなく御出下
 さい。
 尚本部より浦部開教師並に團井委員長が
 随行せられます

一日時七月二十二日午後七時半
 一場所バストス産業會館
 講演會と新任御挨拶

バストス 佛 教 会

各 位

乙 考

前原春一氏及第一君の廿五回忌、十三回忌の法事が去る九日の
夜池田ホテルで営まれ、私も招きを受けて列席した。小母
さんの挨拶は矢張り小母さんの性根を露した強さが見られ後
で誰かの言葉に出た女傑というのが、ひっそりしていた。次男
のトシキヤンを孝行息子で働き者としての上げているの少し
も悪い感ではなかった。細いがよく遠くまで一歩覗いたが小母
さんの歌をさくのは何年ぶりであろうか。

そう、私の結婚式の日であった。それを私は今思い出した。
系音さんの祝詞があり、座の少し崩れさせた後、すわったまま
小母さんが唄いだした。「真の深夜に」と云う同じ歌をうた。
後日になつても折あるに私の父母は前原の小母さんが歌って
くれたと、証言となく語っていた。余程うれしかつたのだろう。
法事には旧縁の人が多かった。畑中、山中、織田と古い人が交
替に昔話をした。友谷九丸、河部五郎君は少年時代に前原の店
で叩き上げられて来たものだが、今は口ひびを蓄え、組合
の副主任になつたり、工場主になつたりしている。「年月」の
うづろい、早さと思ふ。

私が前原の事務所に通出先で顔ぶれをのぞいたのは、十七八年前
からだった。毎日三人の遣見を双手に抱えて陣頭に立って叱咤
していた小母さん、甘やの様にこわかった。しかし時には事務
所のメーカに子供達を相手に睨まれたのしむ事もあった。ちつと
も褒めない普通の甘い甘いママイだった。家族の一員のよう
に氣易く親しくなつて時には子供達のその日の出来ごと
を聞かされることもあった。

「ママイがこんなに苦勞してお前たちを育ててくれるんじや、大き
うな。たらうまいもん食わして孝行せにや」といつたらうぬ、
第一口「そりやママイ何んぼでもうまいもんなべさせてやる、ヨ
うはさんとトラバリヤリで孝行するよ」というんだよ。トシキ
ヤンはにくたらういよ、「うまいもんエウがバスターテたべるよ
ママイなんかの一寸も考えとらんよ」とそんな話もあつた。
そりや良い、子供は正直よ、大きく育つたら、お前でもママ
イの昔話は知つてくさよ……と私は笑つて答えた。

その第一君が不慮の死をこぼした時、ふとその日と思ひ返して家
内に語つてまかせた。
法事の場でトシキヤンを見かけ、本田正雄君の熱のこもつた様
子の中で親が手放してこの子は親孝行で、働き者でと此んぢい
るとあつた。私をさう思ふ。

天国に在る弟をせんは、トシキヤン兄貴の命も一筋はよくマッ
てくれて有難うとさういふもなう。
家にも憎まれつ見かいる。そんな爪で大きくなくたさうする
の、マリードにさらわれるよ、というど、「カーカシだらマリー
ト」大事にするもんじ、さういふてすましている。
やがて腑が来たら私も手放して自慢のやさる様を娘にさるさる
うか、家内は私に前原の小母さんのようにエラクはないのよと答
えた。(了)

七月九日夜前原家の法事池田ホテルで盛大に営まれる

告

一 病院の担当理事を左のように決定してありますから
病院に關することは、その担当理事に御相談下さる
様御願ひします

- 六月(重道、植木) 七月(植木、崎田)
- 八月(崎田、柳浦) 九月(柳浦、早川)
- 十月(早川、長橋) 十一月(長橋、岩田)
- 十二月(岩田、山中) 一月(山中、西川)
- 二月(西川、前山) 三月(前山、西)
- 四月(西、上西) 五月(上西、折本)
- 六月(折本、山本) 七月(山本、石橋)
- 八月(石橋、本田) 九月(本田、太田)

一 病院の内規をまめましたが、もう少し研究の條項
がござりますので、入植祭後の理事会で再検討いた
しました上、印刷して、みな様へ行渡しします
一 七月より、会員と非会員との料金差別をいたします
皆さまの病院をご利用下さい
一九五七年 七月一日

ベネフィシエンテ テバストス
会長 谷口 章

パレトーをまちがえた方に
おねがい!

七月十四日夜演舞場の食堂ではたらいで下さつた
去青年の方は、ないかと思ひますが、上衣を、まちが
えを方に、ありませんか、私の同アツル色で、友谷
製のマックが入っています、のこつていた上衣は、ちつと
小さく、ネズミ色です、お持ちの方は、商業事務所の
戸田オサム 方まで、ゆまち下さい

スイカ 栽培者 におしらせ

来る七月二十九日午後一時より
バストス産業会館にて
座談会 を開きます

せひ御出席下さい
ごそんじの通り、パウリスダ鉄道会社で運賃を値引して
くれました、ことについて、皆様に御相談申し上げることが
ありますので
ごこの組合に所属していらっしゃる方でも
メランシア を作っている方なら
必ず インテレッセ のある問題です

萬障御くり合せ御いひ願ひします
世話人 バストス産業組合

この一文は既載西村報告と大同小異であります。重要の参考資料を御覧にかけます。

カンピナス會談に参加して

聖市 京野 四郎

本年度バスターズ並にツパン(アルタパウリス)両郡から生産される「西風」の輸送諸問題を検討するため、去る六月二十六日に生産地代表者と、コンパニア・パウリス鉄道会社重役がカンピナス市にあつまり、長時間にわたって交渉を重ねた。世にこれを「カンピナス會談」と呼んで居る。只今ここで何々會談など申すと、すぐ第二世界大戦前夜を通じて行われたメルタ・カサランカ、ホツツム、会談等を連想されるであろう。全く右の「カンピナス會談」は、我々バスターズ人としては、その討議された諸問題の重大性の価値は、決して他の會談に劣るものではなく、名実共に「カンピナス會談」と呼んで過言ではあるまい。

初てこの「カンピナス會談」に出席したバスターズ代表の顔ぶれを紹介すると、友若丸、風間三(以上コチア)、山中陽之助(バスターズ産組)、西村英一(スールスラジル)(バンネランテ産組)、山根五太(アビコラ組合)、浦(バスターズ共同出資団)、田中セルジオ、丸木(ツパン、コチマ産組)、聖市からはコチア代表として、岩垣輝巳が出席され、私はスランジアバスターズ共同購入組合と「バスターズ農産生産者団体(岡田、地阿部)」を代表してサンパウロからかけつけ、バスターズ郡代表の一員として、この歴史的會談に参加させて貰った。

相手方のコンパニアパウリス鉄道会社からは、輸送課長ドローレオン・ロウツィ氏、C.P.総裁ドトル・ロムアルド・デ・アルメイダ氏、アルタパウリス又総務取締役エナムンド・ホルタの三氏、場所はカンピナス市、C.P.の重役会室で、並進の全談の、いかめしき、重なる一々は全然なく、風情的交渉をやり測りて定刻の半時間ばかりおくれで開始された、時に午前九時半、着談事項は次の順序でスムースに行われた。

- 一、西風輸送の件
- 二、バスターズニア輸送の件
- 三、バスターズ郡としての要求諸項
- 四、非輸送の件
- 五、安い元価の飼料輸の件
- 六、イアフリ駅 電灯設置の件
- 七、イアフリ駅 レイト(麻台席)コクタ列の件
- 八、バスターズ、イアフリ間 道路修繕の件

右の諸事項の審議に双方、意見を同陳し円満な解決に到着して、腹の虫がスーッと静かになったのは(失礼)十二時半、三時間の長談も恙なく終って吾々一同、名はレストランテ・パチンテヨに岩垣氏の厚意で招待された。

かくの如き會談に列席させて貰った光榮に対し、私は満腹の謝意を捧げると同時に、郷土バスターズの人々の主張する意見と、その張りきった態度を見て、奮然とまっただけです。時間的に少しも暇のない私にはあるが、概率的に番ダのの様子を左に報告させて貰おうと思う。

一、西風輸送の件

この事項は恐らく「カンピナス會談」中の一番大事な問題、はなかつたかと思う。周知のようにバスターズに於ける昨年の西風産額は恐らく神武(これは失言をしよう)以来、否バスターズ入植以来の最大で、西風栽培者の云われる如く「やつと十年自当りまし」との言葉通り、西風作り初めての大口テリアに当った年運年であった。

西風テリアには最高、一日二十六台のカミニオンを動員して出荷したという話もバスターズなりを聞くことのできるモメントである。又昨年十二月上旬に、聖州農産共同協会主催の西風品評會がサンパウロで開催されたが、一昨年三年の首領とことごとく競争した結果、今や五体農産法をモットウに、わがアラシンの生産面が拡大協力するバスターズであればこそ、なれ遂げた偉業に外ならぬのである。この故に、バスターズは世に「西風王國」の名を轟ろかせた事になると思う。

さうと云うに、バスターズの昨年度の西風生産高は六千五百噸を越え、之を大消費市場たるサンパウロとリオ方面に輸送した。それをバスターズに落ちた金額は少くとも一七七八千セントスに上ることであつた。而もこの西風輸送は殆んど全出資をカミニオンに依存したといわれ、この仕事に當つたカミニオンはノロエスエ像を始めソロカバノ線、パウリスエ像は勿論、遠くパラナ州、或はリベロン、カレット方面からも、^{参加}して活躍したといふから、全くバスターズ用植収米の大専氣に相違なかつたと思われ。

この様に、十年自に大当りした「ロテリヤ」ナタール

新案 竹まぶし

農産品展示會に新案竹まぶしが出ていた、いいかわるいが、マユのつきやあいの実物を見せられているから、はつきりしている。サツペのムカデマシというのも、サツペが手に入りにくくなるので、いいでも、竹まぶしにかわっていいだろう。作り方が、さつぱど、いいマユがかけにくい、ムカデまぶしでも、ムカデが、さつぱど、不成績なわけだ。

二百グラム、三百グラム、掃く人は、セツセと作られたのか、おと、おに合いません、一寸した竹細工ですか、でも、費用ななり、ニ三日で作ります、さうけあい。

はたらく学生さん!!

サンパウロで、^{セント・ジョージ}高等学校、大学(ウニベルシタデ)へ通学する方で、はたらく口まさがしている学生さん、教員募集します

父兄の方で、このココクを見られたい、ご本人に、しらせて、あけて下さい、くわいのことは左記で……

聖市ルア・アメリカ・スラジリエンセ 四一九
南伯中央産業組合

廣務課 百武 氏をおたづね下さい

大西川賞でバストブは云う迄もなく、他の地方まで「西川熱」が伝染して、今年の栽培面積は少くとも昨年の二倍半と推定され、これに天候に恵まれ、害虫に犯されなければ今年のサフランはバストぶ郡内だけで一万五千乃至二万トンの西川の生産されるわけだ。今年も亦当り年であつてほしいが、蘇送の問題を考へる時、いかにして安く、敏速に、品よいの市場へ送り出すか、これが今年の西川販売の最上のコツ、ではないかと思ふ。

何故今年の西川蘇送がそれほど大成功かといふと、昨年は州産にわたつて生産が少かつたこと、その結果上値であつた、少く高いカミニオン値を払つても結構引合つて未嘗有の好景を呈したのが今年に於てもそうは行かない、驚く程の大生産が他地方からも出荷されるだろうし、出荷時期も各生産地と同時に出現するならば（一ヶ月内外の遠いしかない）、売値は、かた落ち最悪の場合にはキロ平均二軒なり良い方と思わなければなるまいとの観測もある。

一方運賃はどうかといふとカミニオンの場合、昨年はキロあたり一軒百レース又は二百レースを払つたものが、本年はガソリンは勿論生活の基礎で、少くともキロ当り一軒四百以上百レース運は払わなければならぬ場合もあろうと覚悟せねばなるまい。

そこで考へつゝのが鉄道による運賃軽減の一途である。功角一家族汗を流して、今年こそと思つた希望も夢にやり、売つた西川がキロ二軒で、一軒五百の運賃、一五%（三百レース）のコミソン、その外インホストは何れともし引かれると、自分のふところへ入るところが、もちあさねばならぬ情態にならぬと誰か言定できようか、すでにこの様な悲惨な状態は、ある一部の西川栽培者が、しほはなめた、にがい経験ではなかつたであらうか、かかる場合いかにすれば最も有利なわけか？、それは蘇送方法の合理化より外に道はあり得ない、この問題の解決こそ、一史的なかりカンピナス全談の道ひにかかつて、最大の力が必要と思ふのである。

ではC.Pの重役様との交渉の結果、この様な曙光を見出すことができたか、この答こそ、西川栽培者の心とく関心をもち待つられるものであらう（以下次号）

小野山 改良茅

農産品評会場一隅にバクスターセの一連のツルが出品されていたのを見た方が多いと思ふが、小野山さんはバストスへ入植するとすぐ考へついで、バクスターセの改良を試みた。バストスはイモもできぬように荒れはてていたのである。ネマトームやピルスがはびこつていて、従来栽培法にも大障があり、クネイでもいけなかつた。小野山さんは、それらの病害に抵抗力のつよい新種をつくつた。つる植えと、あざがあのようないそのクネイから出たもので一代交配を作つた。作つたとなつてしまえば、それまでだが、自信ある一代交配種ができる迄に三年の努力が払われていることを忘れてはならぬ。

出品の一つには何と二百六十の仔いしがツラリと一家ケン猿のように笑つていた、じつとそれを見てみると、ひとりだけ、ジーンと目がレウが熱く有るのをたまじ得なかつた

Ford A Agencia Ford de Tupã

Comunica aos senhores Lavradores em geral, que tem para pronta entrega os afamados Tratores Fordson a Oleo Cru' ao preço de 220: mil cruzeiros. É uma oferta especial que os senhores Lavradores não devem perder. Visitem, pois, sem qualquer compromisso.

大好評のトラットール・フォードソン 重油燃料
 プレツソ 220 コント、いつでもすぐお引渡しできます
 農家各位に決してご損のない特別提供です

さあ、すぐ御越し下さい。ごらんになるだけでも結構
 ツッパンのアゼンシア フォードへ



Baktamão バクタモン

失礼ですがお宅のトリの産卵率は充分でございませうか
 ウミ疲れのトリにはどんな
 回復法をなさつておられますか
 もう一つよい成績を...と
 お考えでしたら
 今、評判の
 バクタモンを使ってごらん
 になりませんか？

育雛に使へば非常な好成績
 ルーフ・ジフリアを完全予防
 産卵増進にお持ちかねの
 バクタモン



販賣人
 中浦三司

發賣元
 バストス シヤカラ区
 小沢 勇

入植祭 囲碁大会

去る七月十三日、バスタースカミサ工場階上、市中の雑踏をよそに、こころ悠々たる鳥鳴風景、戦斗とはいえず、しごくのんびりとした和気藪々の対局場。

盤面半ば以上の天の川のような大石を磨かれて、「そりやきこえませぬ殺生な」とと濁りかえる発音を、「してやられたり」と悦に入つてタバコの煙をふーつと天井にふく人。

「あいた、タツタツ」と、とんきような舌をはりよける相手をじろりと睨んで、「その大石がくせものじゃ」と警戒網をゆるめない大天狗、小天狗、からす天狗に木の葉天狗、燕雀と蛙気が付よく、つづいて十四日まで乱斗苦戦の対局戦績次の通り、

| 優勝 | | 優勝 | |
|---------|----|---------|----|
| アカマンチーナ | 初段 | アカマンチーナ | 三級 |
| 清水 | 初段 | アカマンチーナ | 三級 |
| 阿部 | 一段 | アカマンチーナ | 三級 |
| 香木 | 初段 | アカマンチーナ | 三級 |
| 中島 | 二段 | アカマンチーナ | 三級 |
| 由井 | 二段 | アカマンチーナ | 三級 |
| ナンパウロ | 二段 | アカマンチーナ | 三級 |
| 大畑 | 初段 | アカマンチーナ | 三級 |

本大会には遠くサンパウロより、フルンテ、マリリア、アカマンチーナ、近頃はトッパンより三十余名の棋士があつて、熱戦二日にわたつて戦つたが、バスターはいつまで見ても親みのある良い処だとの印象を予え、来年のバスター三十周年入植祭にはぜひ全伯囲碁大会をバスターで開催してほしい。フランス棋院との交渉その他できる又の交渉をするか、と他深かりの入り、熱心に希望するので、地を世話人も一応運合日会へも相談する旨返事をした。もしこれが実現すると各級の棋士は百数十名に達し、バスターの発展を見てもうよい機会とし、少かつたものをコメントをもら得るので、世話人も真剣に研究することとなる。

大野鯉翁全婚式祝句

滝のほり来て悠々と測の鯉 浦紀南子
 祝ふもの祝はるるの日の脚神ぶ 山本秋扇
 此舟祝ふ鯉の殿堂又ぬくし 山本和枝
 寒鯉の眺ねて目生度しは此舟祝 坂本春歩
 ウルガイより子も来て此舟の賀家の春 長橋智晶
 全婚を祝ぐ一門也冬日射し 吹本菊子
 着ふくれて此舟全婚と賀を重ね 磯田糸音
 全婚にあやかりたくてその道 本田哲人
 全婚の着ふくれ孫の渦の中 本田たね子
 浮床島睦むや此舟の鯉の池 松本稲花
 到来の美酒あり田螺和もあり 依の不雨天
 全婚と此舟を重ねて春の池 植木水仙子
 鯉の池思ひおすもみな娘し 小松修水

入植祭リーファ当籤番号

| | | | |
|-----|------|-----|------|
| 一等 | 八二七 | 二等 | 五七六 |
| 三等 | 九〇元 | 四等 | 一三五八 |
| 五等 | 一五四 | 六等 | 一三〇三 |
| 七等 | 一九九二 | 八等 | 五二六三 |
| 九等 | 一五五六 | 十等 | 五二九 |
| 十一等 | 一〇五九 | 十二等 | 五八五 |
| 十三等 | 二六二 | 十四等 | 一〇八〇 |
| 十五等 | 一〇五三 | 十六等 | 一三六七 |
| 十七等 | 一三八九 | 十八等 | 八〇〇 |
| 十九等 | 二七一 | 二十等 | 六八〇 |
| ホ一等 | 三二七 | ホ二等 | 二三四 |
| ホ三等 | 九四三 | ホ四等 | 九三二 |
| ホ五等 | 四七 | | |

賞品は太郎田商店 ミシン部にあリ

御礼

入植祭の演芸出演の際左記の方々から花を戴きました。厚く御礼申上ります。

畑中様 中野一男様 中野一男様 中野一男様
 佐藤栄次郎様 野次一衛様 スズキ一衛様
 中浦三司様 武田保治様 池内バカール様
 山田洋子様 藤崎長五郎様 田中様
 小茂田美服店様 阿部まさ子様 上西養治様
 ランシヤ様 フルワラ様 藤崎五郎様
 細見儀市様 豊島長平様 森商店様
 河面静雄様 梶田商店様 前田有入様
 川辺いさのり様 藤原金物店様 重道商店様
 横田次吉様 宇越外治様 一但原 田様
 加藤一様 奥田富科院様
 サンパウロ 本田道弘様 能見オオトナ様 西川葉局様
 西野朝水様 古田菓子店様 三次商店様
 古沢商店様 バスター通社様 板垣葉局様

ヒバリ楽団 一同

ディーゼル
 ガソリン
 電 気

各種モトール

修理 いたします

水場ポンプ 据付及修理

西風畑灌漑用ポンプ
 二十五HPモトール付 一台
 格安にやります

山中正夫
 出張します

又ードをバストスでたれが一はんに試すか、これも今度の出品で
 宮崎君がセンベンをつけた、影という露題で又ードと取扱。たし
 りだが一は成功している、女体の胸部から腰部まで一つの群物
 として描き出しているところに味も匂いもあつた、もう一寸乳
 膚が又は腹が張って居ればもうと美を感じたであらうか
 同君の「壁」も特異な作品で、作意がやや目につくさうい
 があるが、全長が一才いかれた形である、作者の目から見ると、
 画になる題材は、やたらに多くてこまるらしい、題は、どこにもこ
 りかっているのだが、たまたまの前後から表現するが、つむがが
 同題である、空所もはそれのみかみ方がうまいだろう、その他
 「木瓶」「いい」「ランア」といい、完全に彼の芸術を口にした
 作品といえる、しかるに、その芸術をくぐらないで、カメラだ
 けがうつしとつた彼の作品に、「バナナを頭上にとした男」「エ
 ンシャーダ」などがある、大至急一氏が何といおうと芸術を真は
 カメラマンの頭とどうなるかはなりぬ、ピンがねじれたリ、コ
 ップが、ひしやけても作者の目にそつ映すれば、それによいので
 あつて、そつい画のおもしろいことが、「白痴」であれば「白痴」
 また、たのしからずやといいたい。
 前記の「バナナをかつた男」エンシャーダの男は、彼が眼を
 表現したくてとつたものであろうか、作品としても失敗だし、全
 く表現をあらまわっている、幸いにして入賞しなかつた、
 彼は、いよいよ力量が存分に発揮できる腕前となつた、作意が
 全部彼の創作意から伝まてられる時が来たようである、バストス
 の彼でなく、全伯の彼であるように大成させたいものだ、
 (未完)

Baktamão バクタモン



バクタモンを給与するトリと
 給与せぬトリの
 産卵比較のデータを見ますと
 どなたもびっくりなさいます。
 鶏体維持健康の点でもはつきりと
 區別がわかります
 ピントを上手に去月てるコッ
 はバクタモンを使用することです
 鶏を大切にしましよ
 かれらは感激して卵を
 増産します

販売人 中津三司
 販売人 小沢勇

降りつく雨 新津牛丸
 目を次ぎて夜もまた夜を降りやす
 ふるふる雨よ この冬の雨

Debulhador de Milho

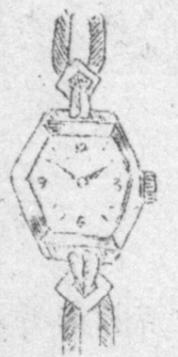


みーりよの脱穀機
 迅速丁寧な当店へ
 御用命願います
 (竹内さんマキナ一功引受けましたので
 大量の仕事もまたたく間にできます)
 御申込は左記へ
 バール 水口
 又此
 カネイヤ向い側
 野沢一衛

西氏 駆虫用
 ベンゼホースの御注文は今月
 中に一志メ切りたく存じます
 大至急 御申込下さい
 太郎田商店 広告追補
 メランシア栽培者各位

Relojoaria Confiança

T. NAKAMURA TUPÃ
 C. Postal, 544



時計
 メガネ
 エビワ
 婦人用
 装身具
 各種
 楽器用

中村時計店

ツパン市ジドウ車乗合所前

時計や貴金属をお求めの節は
 せひ一度弊店へお越し下さい
 責任を以て御相談に応じます
 ツパンにおいでの際は必ず、お休みなさい